

児童思春期精神保健講座(水戸会場)へのお誘い

(公財)げんでんふれあい茨城財団支援事業



思春期と情報化社会 — 変化をどう観て どう支えるか —

<発題者>

三輪壽二氏(臨床心理の立場から 茨城大学教授)

大内淳子氏・檜山由美子氏・蓮井佑香里氏

(保護者の立場から いはらき思春期保健協会思春期アドバイザー)

阿部寿美子氏(教員の立場から 公立小学校養護教諭)

伏島彩世氏・綿引萌々子氏

(若者の立場から いはらき思春期保健協会ヤングボランティア)

<コーディネータ>

熊野正浩氏(酒門診療所 臨床心理士)

—情報化社会での困りごと 皆で話し合ってみませんか—

現代社会の子どもたちは、幼少期から、携帯電話やゲーム機などの情報通信に囲まれて生活しています。学校ではリモート授業、参考書に変わって動画で解き方が学べ、家庭では予約や買い物は携帯電話での操作で完了できます。学校の友人とは携帯電話で交流し、また、会ったこともない世界中の人と話もできます。知りたいことは検索機能を用い、出来事はその場で写真に記録できます。移動中も動画や音楽を楽しむこともできます。

このような環境下の生活で、個人の記憶の回路や思考回路、人間関係の結び方、あり方は変化しているのでしょうか。子どもたちはどのように成長していき、親はどんな子育てをすればよいのか、教育現場に求められることは何なのでしょう。情報通信とどのように付き合っていけばよいのでしょうか。これらの問いは大人にとって未知の領域なのです。

そこで、今大人が不安に思うこと、困っていること、アイディア、できることを出し合い、自分の考えを他者に伝え、様々な立場の方の意見を聴き、より多くの気づきを得ませんか、情報通信の発達した社会で育つ思春期の子どもをどう理解し、どう支えていけばよいかを皆で考えてみませんか。

日時 2024年 7月28日(日) 13:30~16:40

- 1 発題 保護者・教員・若者・研究者からの問題提起 13:40~
- 2 小グループディスカッション(現実を共有して考えることを考えよう) 15:20~
- 3 まとめ 16:25~

会場 水戸市医師会館 1F 研修講堂 (水戸市笠原町993-17)

募集 先着60名 学校関係者 保護者 学生 心理職 保健師 医療従事者
思春期支援に関心のある方等

参加費 会員・学生 無料 / 非会員500円(当日受付でお支払いください)

♡ 申し込み 裏面参照 (公社) いはらき思春期保健協会 7/20まで — ♡

FAX 029-305-7564(裏面申込書による)

Email iharaki7563@ish7563.com(所属 名前 会員・非会員の別を明記)

主催 公益社団法人 いはらき思春期保健協会
協賛 公益財団法人 げんでんふれあい茨城財団
後援 茨城県 茨城県教育委員会 茨城県精神保健協会

